

2026 年度入学 AO 入学試験(4 期) 小論文課題

千葉商科大学大学院
会計ファイナンス研究科

次の 3 つの課題 (I、II、III) から 1 題を選んで解答しなさい。

I 「会計に関する課題」

以下の問題 A か問題 B のいずれかを選択して解答しなさい。なお、問題 A と B のどちらを選択したか冒頭に必ず明示すること。

問題 A

別添の資料 1 は、『ヒューマン・アクション』の「企業家的利潤と損失」の一節です。資料を読んで以下の問いに答えてください。

1. 本文における「広義の利潤」とはどのような概念かを説明しなさい。あわせて、「満足の増大（不安の減少）」という表現が意味する内容を、本文の文脈に即して述べなさい。
2. 利潤と損失が「精神的現象」であり、「計測できない」とされている理由を説明しなさい。また、そのことが他者への伝達においてどのような制約を生むのかを述べなさい。
3. 市場経済において、貨幣計算によって示される利潤・損失は、どのような意味で「心理的利潤・損失」とは異なるのかを説明しなさい。
4. 貨幣によって示される利潤・損失が「社会現象に関する言明」であるとはどういうことか。
その際、インフレが存在する場合に、貨幣による利潤・損失の解釈にどのような影響が生じるかについても、本文の考え方を踏まえて説明しなさい。
5. 貨幣とは「次の取引のために、誰もが喜んで受け取ってくれるもの」である。
このように貨幣を定義した場合、利潤および損失は、貨幣的評価によってどのような性質をもつものとして理解されるか。本文の考え方を踏まえて説明しなさい。

【次ページに続く】

問題 B

短期利益計画に用いられることのある管理会計の手法として CVP 分析

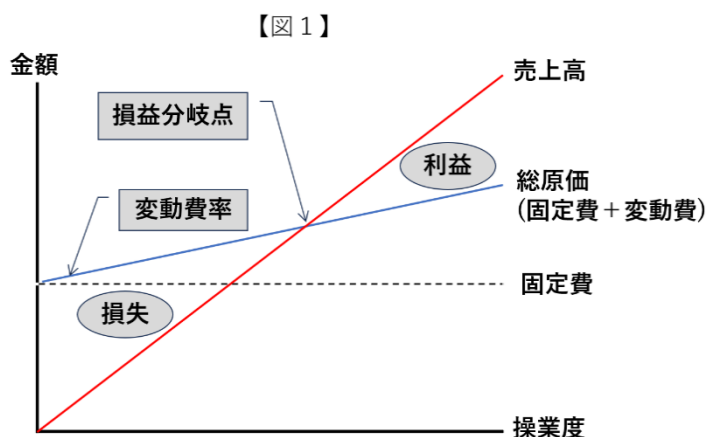
(Cost Volume Profit Analysis) が有名であり、特に利益がゼロになる点に注目して損益分岐点分析 (Break-even Analysis) と言われることもある。

これらは以下の数式で示され【図 1】のようになる。

利益＝売上高－総原価（変動費＋固定費）

＝（売上単価－変動費率※1）×操業度－固定費

※1 単位当たりの変動費



このように操業度に応じて変動する費用と操業度に関わらず発生する費用があることを念頭に、費用収益対応の原則につき、具体的な勘定科目を示しながら説明しなさい。

II 「法律（税法・会社法・その他関連法）に関する課題」

犯罪による利得など、私法や刑事法において違法とされる利得を個人が得た場合、所得税が課税されるべきか否かについて、肯定説と否定説の主張の根拠として考えられる点をそれぞれ挙げた上で、あなたの考えをその理由を含めて述べなさい。

【次ページに続く】

III 「ファイナンス・その他時事問題に関する課題」

先日の衆議院議員選挙では、社会保険料の負担を各党とも問題にしていた。社会保険料のうち、金額的な負担が大きいのは厚生年金保険料と健康保険料であり、この2つで年収の14%以上を占める。

社会保険料の負担を引き下げるということは、老後に受給できる年金額の減少、医療機関で支払う自己負担額の増加に直結する。

つまり、保険料負担が多い一方で、老後や傷病時に経済的に安心できるのは現行の社会保険である。保険料負担を軽減すると老後や傷病時の経済的不安が増大すると、出題者は考える。

この状況に対して、以下の設問に回答して下さい。できるだけ具体的に記述して下さい。簡潔である必要はありません。

1. 「社会保険料負担は重いが経済的に安心できる社会保険」と「社会保険料負担は重くないが、経済的な不安が多い社会保険」のいずれを日本社会は目指すべきと考えるか？

いずれかの立場に立って、それが日本社会にとって望ましい理由を箇条書きで述べて下さい。

2. 回答者自身にとっては、いずれが望ましいか？その理由を箇条書きで述べて下さい。

3. 高齢社会である日本にとって、社会保険は保険料負担が重くなりがちで不満が出やすい。

現行の社会保険の不満を軽減する、および負担を少しでも軽減する施策を箇条書きで提案して下さい。

※別添資料は、著作権保護された素材（新聞記事等）を含むため、
掲載しておりません。